

歴史遺産を学び、 その素晴らしさを発信する。

明治大学は、文部科学省委託事業である「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」を全国5地域の自治体と連携して推進しています。2009年度はその最後を飾るべく、ここ長和町と連携して「歴史遺産ボランティア育成プロジェクト」を実施します。

長和町は、多数の黒耀石原産地と石器時代の遺跡、そして江戸時代の五街道の一つである中山道と宿場町といった特色ある歴史遺産を数多く擁しています。この二つに共通するのは、人と人、里と里をつなぐ「ミチ」に関係していることです。和田峠や星糞峠の黒耀石は遙か石器時代の太古に、石器の原材料として広く流通し、日々の生活の糧を得るための大切な資源でした。石器時代人が黒耀石を持ち出した跡は、「黒耀石のミチ」とも呼ばれます。中山道は、いうまでもなく東西文化の交流や物資の流通に大きな役割を果たし、長和町にも和田・長久保の宿場跡が残されています。長和町には人々の交流の歴史が数多く秘められているのです。

本プロジェクトは、まさに「町は歩く博物館」である長和町の歴史遺産について皆さんと学び、その素晴らしさに気づき、長和町を訪れる多くの人々に夢をもって語りかけることが出来るコミュニティを皆さん自身が創設することをお手伝いします。長和町の歴史遺産を自分たちのブランドとして誇りをもち、発信する。そのような具体的で活力に満ちたコミュニティがまた一つ長和町に生まれることを期待してやみません。



プログラムコーディネーター
明治大学文学部教授 杉原 重夫

■ 歴史遺産ボランティア育成プロジェクト ――― カリキュラム

回数	日 程	時 間	内 容	講 師
1	6月5日(金)	10:00～10:45	開講式	45分
第1段階 地域を知る講座				
2	6月5日(金)	11:00～12:30	黒耀石と長和町	明治大学文学部教授 杉原 重夫
3	6月5日(金)	13:30～15:00	中山道と長和町	明治大学中央図書館事務長 伊能 秀明
第2段階 地域貢献の現状を学ぶ				
4	6月19日(金)	10:00～11:30	地域活性化の事例 ①	塩尻市平出博物館長 小林 康男
5	6月19日(金)	12:30～14:00	地域活性化の事例 ②	大田市教育委員会教育部長 大國 晴雄
6	7月3日(金)	10:00～11:30	地域の活性化について考える	明治大学商学部教授 水野 勝之
第3段階 ボランティア講座				
7	7月3日(金)	12:30～14:00	博物館とボランティア	大妻女子大学非常勤講師 熊野 正也
8	7月10日(金)	10:00～11:30	観光ガイド・語り部	みえ熊野学研究会研究員 三石 学
9	7月10日(金)	12:30～14:00	文化財の保存と活用	明治大学文学部教授 矢島 國雄
10	7月25日(土)	10:00～15:00	朗読を楽しむ ①	明治大学特別招聘教授 原田 大二郎
11	8月1日(土)	10:00～15:00	朗読を楽しむ ②	明治大学特別招聘教授 原田 大二郎
自立学習				
12	9月4日(金)	10:00～15:00	実習・講義(黒耀石)	長和町教育委員会学芸員 大竹 幸恵 明治大学黒耀石研究センター特別嘱託職員 山科 哲
13	9月18日(金)	10:00～15:00	実習・講義	長和町教育委員会学芸員 大竹 幸恵 明治大学黒耀石研究センター特別嘱託職員 山科 哲
14	10月2日(金)	10:00～15:00	実習・講義(中山道)	長和町教育委員会学芸員 勝見 譲 明治大学専任准教授 吉田 優
15	10月9日(金)	10:00～15:00	実習・講義	長和町教育委員会学芸員 勝見 譲 明治大学専任准教授 吉田 優
第4段階 地域の博物館調査と成果報告の作成				
16	10月23日(金)	10:00～15:00	博物館見学実習	240分
17	11月6日(金)	10:00～15:00	成果報告 (史跡ガイドブック・ガイドマップ、その他)の作成 ①	杉原 重夫 ／ 大竹 幸恵 ／ 勝見 譲 吉田 優 ／ 山科 哲
18	11月13日(金)	10:00～15:00	成果報告 (史跡ガイドブック・ガイドマップ、その他)の作成 ②	杉原 重夫 ／ 大竹 幸恵 ／ 勝見 譲 吉田 優 ／ 山科 哲
成果報告会 プレゼンテーション				
19	11月27日(金)	10:00～11:30	記念講演会	90分
	11月27日(金)	12:30～14:30	成果発表・修了式	120分
19回(14日間)				

歴史遺産ボランティア育成プロジェクト

講師紹介▶▶▶

伊能 秀明 [いよく ひであき] | 明治大学 中央図書館事務長



1953年群馬県生まれ。日本法制史専攻。博物館の学術資源や人的ネットワークを生かした生涯教育事業やその他の処務に従事。アジアでは初の「ヨーロッパ(拷問展)」や文部科学省の「親しむ博物館づくり事業」などを手がけた。専攻する法史学は、「奉仕学」でもあるという着想から、小・中学生の受け入れや博物館の恩恵に浴せない遠隔地での出前授業にも熱意をもって取り組んでいる。1999年から市民と共に学習会で古文書解読を続けている。著書に「法制史料研究」1～4など。法学博士。

大國 晴雄 [おおくに はるお] | 大田市 教育委員会教育部長



島根県大田市生まれ。島根大学を卒業、大田市職員となり、石見銀山の町並み保存や発掘調査を含む総合調査に携わり、新設の石見銀山課長となる。世界遺産登録推薦書の作成にも関わり、イコモスの現地調査の説明も担当し、ニュージールランドでの世界遺産委員会にも参加。2007年4月より教育部長となる。

熊野 正也 [くまの まさや] | 大妻女子大学 非常勤講師



明治大学大学院文学研究科史学(考古学)専修、市立市川歴史博物館長、明治大学博物館事務長を経て、明治大学図書館事務部長にて定年退職。博物館ボランティアを媒体として不況に左右されない地域博物館を目指す。

矢島 國雄 [やじま くにお] | 明治大学 文学部教授



1948年神奈川県横浜市生まれ。学部大学院ともに明治大学で考古学を学ぶ。文学修士。その後、倉田公裕に師事し博物館学を学び、明治大学において博物館学芸員の養成に携わる。専門は博物館学・先史考古学。日本考古学協会埋蔵文化財保護対策委員会委員を長年にわたって務め、茨城県塚古墳、長野県長和町星糞峠黒耀石原産地遺跡等の保存活用事業に携わる。2008年より全日本博物館学会会長。

大竹 幸恵 [おおたけ さち恵] | 長和町教育委員会 学芸員



明治大学大学院文学研究科修士課程・博士前期課程修了。茨城県出身。子どもの頃から拾った黒耀石の石器とフーテンの寅さん『葛飾立志篇』がきっかけで考古学に進む。勤務地の長和町はその黒耀石の産地として憧れの地であり、学生の頃から調査に参加。全国的にも先駆的な取り組みとして体験型の博物館を企画・運営。

勝見 譲 [かつみ ゆずる] | 長和町教育委員会 学芸員



1991年國學院大學文学部卒。卒業後、地元に戻り現職に就く。専門は中・近世の交通史。子どもの頃から地元近隣の野山を駆け巡り、郷土の歴史遺産に興味を持つ。「長和の道は、全国(史)に通じる道」をモットーに、日々、町の文化財保護に取り組む。

杉原 重夫 [すぎはら しげお] | 明治大学 文学部教授



1965年明治大学文学部史学地理学科卒業、同大学院文学研究科博士後期課程修了。文学博士。市立市川博物館勤務を経て1974年明治大学へ。専門は自然地理学、地形学、第四紀学、文化財科学など。長年にわたり(火山灰)の同定・対比による地形編年の研究を行ってきたが、最近では同じ火山噴出物である黒耀石の理化学的分析に興味を持ち産地推定の研究を進めている。

小林 康男 [こばやし やすお] | 塩尻市 平出博物館長



明治大学卒業後、平出博物館に勤務し、博物館の運営や塩尻市内の埋蔵文化財の調査・保護に携わる。昭和50年代から史跡平出遺跡の保存・活用に取り組み、現在、「五千年におよぶ平出の地」をテーマに、市民の協力を得ながら平出遺跡公園の整備を進めている。

水野 勝之 [みずの かつし] | 明治大学 副教務部長・商学部教授



1980年早稲田大学政治経済学部卒業。同大学院経済学研究科博士後期課程退学。商学博士。専門は計量経済学、経済教育学。統計的分析を多用しながら地域研究およびそれに基づいた提言活動を進めてきた。

三石 学 [みついし まなぶ] | みえ熊野学研究会研究員



1955年三重県熊野市生まれ。島根大学地理学科卒業。現在、東紀州観光まちづくり公社・観光振興室長。三重県史専門調査員、海の熊野地名研究会事務局長。30年前から熊野古道の発掘・整備と調査に取り組みながら語り部として古道案内を行う。「みえ熊野学研究会」の研究員として、世界遺産登録への文献的な準備を担当する。編著書に「別冊太陽・熊野」、「国文学解釈と鑑賞・聖地と巡礼」など。

原田 大二郎 [はらだ だいじろう] | 明治大学 特別招聘教授



俳優。『Gメン75』『十二夜』『耳かきお蝶』などに出演。明治大学法学部卒業。劇団文学座出身。音読の身体的、精神的な効能に早くから目覚め、学校や自治体の講演の場などで機会あるごとに朗読術を広めてきた。

山科 哲 [やましな あきら] | 明治大学 黒耀石研究センター特別嘱託職員



1973年北海道旭川市生まれ。2000年3月明治大学大学院文学研究科博士前期課程修了。2002年より明治大学黒耀石研究センター特別嘱託職員。専門は石器時代の考古学。近年は黒耀石採掘鉱山の調査に携わりながら、縄文時代における黒耀石原産地の開発と黒耀石の供給をテーマとしている。

吉田 優 [よしだ まさる] | 明治大学 専任准教授



1949年福島県生まれ。明治大学大学院文学研究科博士後期課程修了。市立市川歴史博物館学芸員を経て現職。専門は博物館学、近世村落生活史。主論著に「古文書調査研究とその方法―古文書調査を行うなかで郷土史・地方史・地域史研究を問う」(雄山閣)、「地域博物館の展示理念―ふるさと・郷土・風土の視点」(白鳥舎)など。